



霞ヶ関北花の丘公園からみよしの公園に向かって歩くと、東武東上線と交差します。ガード下の歩道の壁面に作品を見つけました。赤や青など色とりどりに着色した小片を、ジグソーパズルのように組み合わせ、楽しそうな風景が描かれています。横には「未来の川越」という題名で「みんなで遊ぼうよ 空をとんでみよう 雲にのつてみよう キャンプへ行つてテントでねむりたいな 一人じゃなくくてみんなで遊ぶと楽しいな 霞ヶ関北小学校 みなさんの原画」という添え書きがあります。時の鐘の周りで縄跳びをする子、空飛ぶ乗り物に乗っている子、バーベキューをしている子。テントの中もなんだか楽しそうです。



そう言えば、この作品の近くには公園。近づくと、元気に遊んでいる子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきました。

編集後記

どんぐり

雲一つない青空と、春にしては日ざしが強く感じられた日。江戸時代初めから続く伝統行事「石原のささら獅子舞」の取材へ出かけました。始まる前に、囃子で笛を吹く方と話をすることがありました。獅子舞を盛り上げる笛は、なんと手作り。試行錯誤を繰り返して、今まで作った笛は50本以上にもなるそうです。今日のために持ってきたのは、その中でも宝物の2本。笛の高く澄んだ音が境内に響き渡ると、伝統の獅子舞に命が吹き込まれたようでした。



表紙の地図



ナニワイバラ

石原町交差点の近くを歩いていると、ふと目に飛び込んできた白い花。大きさは7、8センチほどで、中心部は黄色です。葉の緑色とのコントラストがきれいだったので、自然と目がその花に向けられました。名前はナニワイバラ。常緑の葉が密集しているため、古くから庭木や垣根に利用されています。中国が原産で、江戸時代に難波の商人によって日本に持ち込まれたため、この名がついたようです。花の周りには、先のとがったつぼみがたくさんあります。莖にはトゲがたくさんありますので、近づいて見るときは注意してくださいね。

